



ごきげんな学校 新庄小学校

朝日子 (あさひこ)

11月

新庄小ホームページ



あさひこ【朝日子】『名詞』朝日。朝の太陽。（「こ」は親しみの意を表わす）

令和7年11月号

柳井市立新庄小学校

“愛情という名のロック”を～小学生とスマホ～

校長 坂井 竹俊

「先生、秋って冬なんですか？」

ある朝、低学年の女の子がそう尋ねてきました。少し前までは真夏の暑さでしたが、最近は手袋をして登校する子もいます。五感で感じたことを素直に言葉にする——子どもならではの感性に、思わず感心させられます。

さて、今回は「スマートフォン」について考えてみたいと思います。

スマートフォンは、世界とつながる便利な道具ですが、その裏側には心の成長に影響する課題もあります。

「ちょっとした悪口のつもりだった」「みんなが言っているから同調した」——。

そんな言葉も、文字にすると消えにくく、相手を深く傷つけることがあります。対面なら表情や声のトーンで「言いすぎたかな？」と気づけますが、画面越しではそれが伝わりません。まるでブレーキのないまま、指先ひとつで言葉を投稿してしまうようなものです。

その結果、保護者を巻き込むトラブルに発展することもあります。未成熟な子どもにとって、対面の人間関係ですら難しいのに、SNS (LINE 等) で複雑な関係を築くのは至難の業です。これは学校としても大きな懸念です。

スマートフォンを持たせることは、「世界とつながる扉」を開けること。だからこそ、持たせるという選択をするのならば、大人には安全に使えるよう導く責任があります。

たとえば、自転車に乗るときにヘルメットをかぶらせ、交通ルールを教えるのと同じです。



家庭でできるスマホ対策：

1. 家庭内ルールを一緒に決める

例：「夜9時以降はリビングで充電」「宿題が終わるまで使わない」など

2. ルールが守られているか定期的に確認する

例：アプリの利用状況を見たり、必要に応じて内容を一緒に確認したりする

「プライバシーがない！」と反発されるかもしれませんが、テレビ番組を親が把握するのと同じように、スマホの中身も時々確認することは干涉ではなく「愛情という名のロック」です。「何かあったらいつでも助けるよ」という無言のメッセージでもあります。

「大丈夫」と手放して信じることは、時にお子さんを無防備にしまいます。「ルールを決め、守らせる。時には内容をチェックする。」これは、お子さんの健やかな成長を願う保護者としての責任であり、愛情の証です。

「オレが今マリオなんだよ」

島に来て子はゲーム機に触れなくなりぬ (俵 万智)

現実の世界には、ゲーム機や SNS にはない、心が揺さぶられる出会いや発見がたくさん待っています。



人権教育参観日ありがとうございました



人権教育参観日では、多くの方に授業を参観していただき、ありがとうございました。講演会では、「多様な性を生きる」というテーマで5・6年生も一緒にお話を聞きました。「性を自分で決める。周りはそれを受け入れる。」どの子も生きづらさを感じなくて済むような社会にしていきたいものです。

社会見学・宿泊体験学習・修学旅行

10月は全学年が社会見学・宿泊体験学習・修学旅行と校外での学習に出かけました。



1年生 楽しいお弁当



2年生 徳山駅



3年生 フラワーランド



4年生 瑠璃光寺五重塔



5年生 野外炊事



6年生 いのちの旅博物館

ふれあいまつり(11/8)について～学校での約束～

昨年度同様、授業終了後は飲食も買い物もできるので、学校では以下の様に指導します。

1 金銭について

- ・お金や物のやりとりはしない
- ・財布をなくさない

※バザーで買い物をするために、登校時から財布を持ってくる場合は、担任が財布を預かり職員室で管理します。

2 食べるマナーについて

- ・食べるときは、座って食べる
- ・食べ歩きはしない

3 ゲーム機の使用について

- ・お祭りではゲームはしない

楽しいお祭りになるように、御家庭でも声をかけていただきますようお願いします。